

子どもたちの防災意識向上への取り組み

地震や台風など自然災害に対する防災意識の向上を図るため、毎年9月1日は「防災の日」、8月30日から9月5日は「防災週間」とされており、この期間には全国で防災訓練や関連イベントが行われています。町内の学校でも、9月4日に防災訓練や学習会が実施されました。

○余市養護学校

令和4年度から海上自衛隊余市防備隊の協力を得て1日防災学校が行われました。今年は地震・津波を想定した避難訓練や人形劇、担架や段ボールベッドの体験など防備隊の方々との交流を兼ねた防災学習が実施されました。児童・生徒たちは防備隊の装備品に興味を持ち、隊員の説明に集中して耳を傾けていました。

安達副校長は「子どもたちは、防備隊の方々の授業をととても楽しみにしています。毎年、防災学習の内容や伝え方を大変工夫していただき感謝しております。こうした繰り返しの学習を通して、安全意識が高まり、守る行動に繋がってほしいと考えています。」と話していました。

○東中学校

町総務課危機管理対策室の担当者が東中学校に訪問し、防災学習会が行われました。前半は、危機管理対策室長による実際の災害体験談や防災ガイドマップの説明、後半は、災害時の避難所開設を想定した訓練が行われました。生徒たちは、段ボールベッドや簡易トイレなどの実物を使用した実習を行い、班ごとに協力しながら、迅速に避難所資機材を展開していました。

明村校長は「すごい良い経験。災害をイメージできる貴重な機会でもある。生徒たちも地域の一員として助け合いができる子になってほしい」と話していました。



▲ 養護学校防災学習



▲ 東中学校避難所開設訓練

問合せ 政策推進課 広報統計係 ☎21-2117

広報よいち8月号



生徒が執筆！余市紅志高校コーナー（第2回）



みなさんこんにちは！余市紅志高校3年次「行政班」です。

私たちの活動では「防災講話」（広報よいち8月号に掲載）と「広報よいちの切り抜き」を行っています。

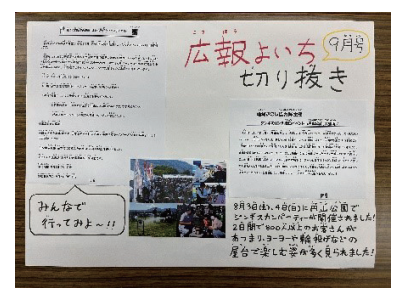
今月は「広報よいちの切り抜き」について紹介します。

昨年度の課題研究Ⅰで広報よいちについて研究し、広報誌の良さや地域においての大切さを学びました。この経験をふまえ「子どもたちに余市町の魅力に気づいてもらう」ことを目的として広報よいちの2次活用を考えました。

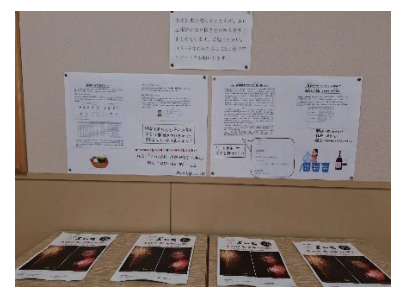
7月には沢町小学校に協力していただき、広報よいちの切り抜きを掲示させてもらいました。その切り抜きの感想について小学5、6年生にアンケートを実施したところ「自分の知らなかった情報やこれからの生活の中で役立つ情報がたくさんあったので、見ていて面白かった」という回答がありました。9月号はもっとわかりやすく伝えるために写真を加えて作成しました。これからも少しでもわかりやすく・見やすい工夫を重ね、さらに掲示してもらえる学校数を増やしていきたいと考えています。

この記事を見て、掲示したいという学校がありましたら本校までご連絡ください。

次回12月号もお楽しみに！！



▲ 9月の切り抜き



▲ 沢町小学校の掲示の様子

問合せ 北海道余市紅志高等学校 課題研究Ⅱ行政班 ☎22-3875